

報道関係の皆様へ  
プレスリリース

2021年4月14日  
京都府福知山市

# 福知山市への移住世帯数 2020年度に過去最高を更新

移住世帯数 前年度比 1.9 倍 移住希望世帯数 前年度比3.2倍

福知山市では、2020年度の空き家バンク制度を通じての移住世帯数が過去最高(前年度比1.9倍(※1))となり、本市への移住に対する関心の高まりを感じる結果となりました。

移住希望者の状況については、2020年4月の緊急事態宣言以降、空き家バンク制度の利用希望登録世帯数(移住希望世帯数)も大幅に増え、前年度比の約3.2倍(※2)となりました。近畿圏からの移住希望世帯の増加はもちろん(3.4倍)、近畿圏以外からも前年度比で2.8倍(※3)となっています。

(※1)空き家バンク制度を通じての移住世帯数及び移住者数

11世帯 31人 (2019年4月1日～2020年3月31日)

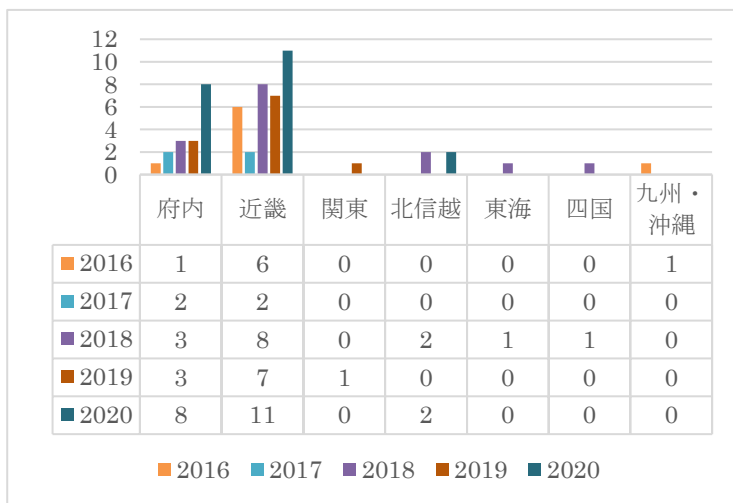
21世帯 37人 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(※2)空き家バンク制度利用希望登録世帯数(移住希望世帯数) ※福知山市在住者を除く。

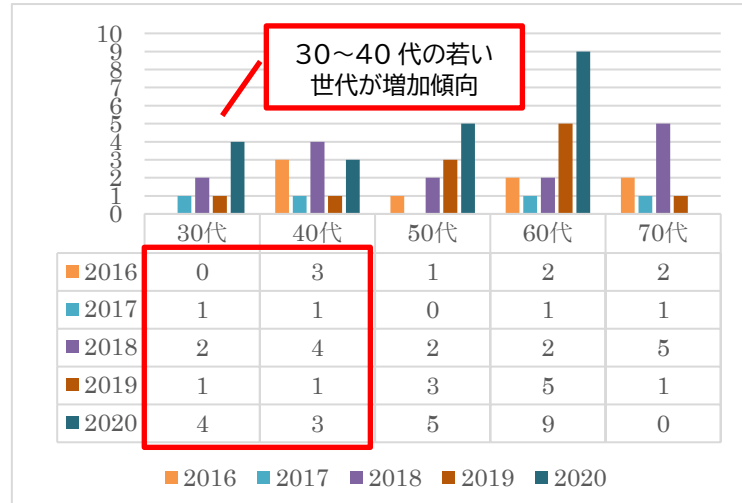
73世帯 (2019年4月1日～2020年3月31日)

238世帯 (2020年4月1日～2021年3月31日)

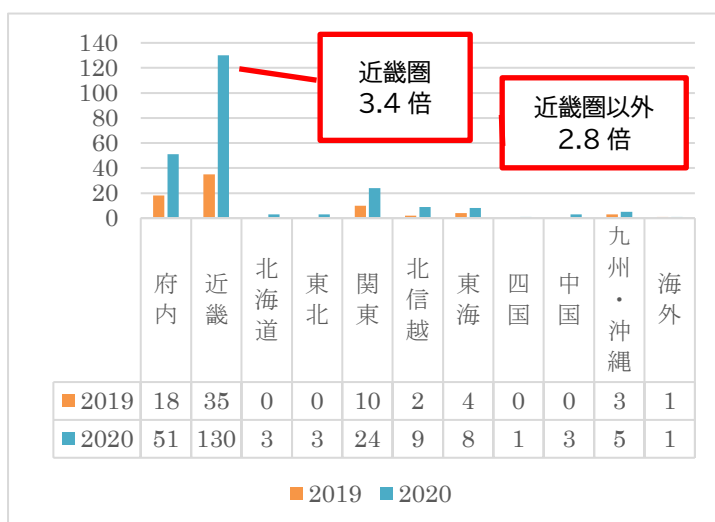
【資料①】移住世帯の前住所(過去5か年度)



【資料②】移住世帯の世帯主の年齢(過去5か年度)



【資料③】移住希望世帯の所在地(過去2か年度)



(※3)空き家バンク制度利用希望登録世帯  
(移住希望世帯数)

近畿圏53世帯 近畿圏以外 20世帯

(2019年4月1日～2020年3月31日)

近畿圏181世帯 近畿圏以外 57世帯

(2020年4月1日～2021年3月31日)

## <傾向> 30代・40代を中心とした「働き方」「価値観」の変化

空き家バンクの現地案内、移住相談、お試し住宅の応募状況を通じて、以下のとおり、移住希望者の傾向に変化が見られました。

①【働き方の変化】 リモートワークの導入などにより、都市部の企業に属しながら本市で仕事を続けるなど、移住後も従前からの仕事を続ける移住希望者が増えました。物件をリモートワークの拠点として探しているという相談事例もありました。特に京都・大阪から車で1時間半という立地が関西圏でビジネスをされている方にはちょうど良いとの声をいただいています。

②【価値観の変化】 特に30代から40代の若い世代は、コロナの感染拡大が都市部での生活を見つめ直すきっかけになり、田舎での子育てや時間にゆとりのある暮らしを求める方が増えました。

※2020年度移住された若い世代については、明確な目的を持って移住する傾向にあり、地域のお試し住宅を開業したり、地元農家の事業継承をされています。

2021年度については、2020年度に引き続きコロナの感染拡大移住イベントの縮小や中止が予想されることから、オンラインでの空き家内覧・移住相談を強化し、関西圏以外からの移住希望者の獲得にも努める予定です。

また、法人向けには「NEXT ふくちやまテレワーク整備支援補助金」を創設しており、本市でサテライトオフィス等の整備を希望する法人等の支援を行うことで、都市部から本市への人の流れをつくる取組を進めます。

## <お知らせ> FUKUFUKU LIFE のロゴマークとアイコンのステッカー配布中

本市への移住の取組にご協力いただける施設や店舗に対し、2021年2月19日にリニューアルしたロゴマーク及びアイコンのステッカーの配布を開始しました。店頭等に掲示していただき、本市の移住の取組をPRしていただくことを目的としています。配布を希望される場合は、まちづくり推進課までお問合せください。



ロゴマーク



アイコン① “ほどよく街”をイメージ



アイコン② “ほどよく田舎”をイメージ

### 【本件に関するお問合せ】

福知山市役所 まちづくり推進課 移住定住促進係 担当：市田、藪内、田倉  
TEL：0773-24-7225 FAX：0773-24-6537 E-mail：machi@city.fukuchiyama.lg.jp  
<https://www.welcomeiju.city.fukuchiyama.lg.jp>